



# 「みたけ」は、 理念の実現のために存在する

## みたけ理念

「みんなでつくるみんなの笑顔！」



⇒みんなでつくる

＝職員全員参加で、地域の方とも協力してつくる

⇒みんなの笑顔

＝法人に関わる全ての人の幸福の実現

(みんな＝職員・園児・ご利用者様・地域の方々)

＝幸福な地域社会の創造

## みたけの経過と事業

名前の由来は  
地域の御嶽(み  
たけ)神社



### 法人の概要

- ・ 2001年 社会福祉法人東の会設立
- ・ 2003年 特別養護老人ホームみたけ開設  
ショート、デイ、ケアハウス、居宅開設

職員数:60名、事業費4億円でスタート

- ・ 2008年 南橋本みたけ保育園開設
- ・ 2009年 理事長今井徹就任(現理事長)
- ・ 2011年 西橋本みたけ保育園開設
- ・ 2013年 上高井戸大地の郷みたけ開設  
高齢者GH、小規模多機能型介護  
杉並大宙みたけ保育園開設

- ・ 2016年 小町通みたけ保育園開設
- ・ 2020年 相模原保育3園こども園移行

職員数:常勤160名、パート140名、合計300名

事業費:14億円

開設から職員数5倍、事業費3.5倍に成長



## 生きること、介護・保育の仕事をする<sup>みたけ</sup>こと、 みたけの理念

何故この仕事をするか、もう一度考えてみよう。

1. 人は誰でも、幸福でありたいと願っています。
2. 幸福になるために仕事をしています。生きていくためにお金は必要、だが、それだけで幸福か？
3. 「人の役に立った」と感じた時に幸福を感じます。
4. 「介護」「保育」は、真っすぐに「人の役に立つ」仕事と思ったから選んだ。
5. その純粋な気持ちで「介護」「保育」の仕事をする。
6. みたけ理念の職員の幸福はここにある。

3

中長期戦略  
急激な拡大でなく、地に足をつけて、たゆまなく成長する。

- ① 社会情勢、利用者ニーズ、事業の状況を常に研究し、方針を決定し、取り組む。
- ② 今、実施している事業を、高め強固にするため、創意工夫・改善に日々取り組む。
- ③ 新しい事業は、事業の大小に関係なく、地域に必要と思ったことに積極的に取り組む。
- ④ 新しい社会福祉法人のモデルとなることを目指して、良いと思ったことに取り組む。
- ⑤ 経営基盤強化、地域福祉を守るため、社会福祉法人等の連携に取り組む。

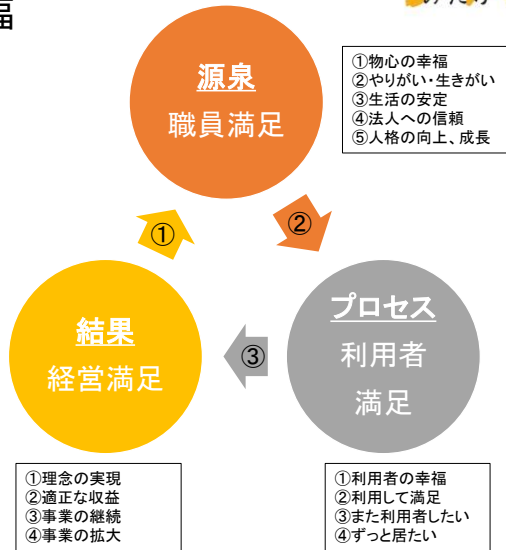
一歩ずつ確実に！  
みたけは、「年輪経営」  
で成長する。



4

## 理念実現と職員幸福への方策

- ① 法人は職員の幸福を1番と考えます。職員がどう考え、どう行動するかによって、園児・ご利用者さまの幸福、地域の方の幸福がかかっているからです。
- ② 職員満足⇒利用者満足⇒経営満足の幸福サイクル、職員の組織力最大化行動によって、理念が実現します。
- ③ 仲間と共に困難に挑戦し、克服することで、理念が実現し、職員の幸福をもたらします。
- ④ 挑戦と克服の過程で、職員はより人間性、人格が高められ、その人間的成長が、生涯の幸福をもたらします。



## チーム力を高める

### 一体感のある組織になる

- ① 部活のような心が繋がるチームを作る。
- ② 信頼しあう仲間になるために、一人ひとりが良い考え方や正しい行動をとる。
- ③ お互いを認め、良い点を出し、弱点をカバーする。
- ④ 全員参加で同じ目標に向かって頑張るチームになる。



## 法人の宝となる 人財を育てる①

みたけの目指す職員像

- A) 人間的な魅力のある人
- B) 相談しやすい人
- C) ありのままの自分で働いてもらえる人
- D) 周りを輝かせることができるひと
- E) 身だしなみ、ビジネスマナーができる人



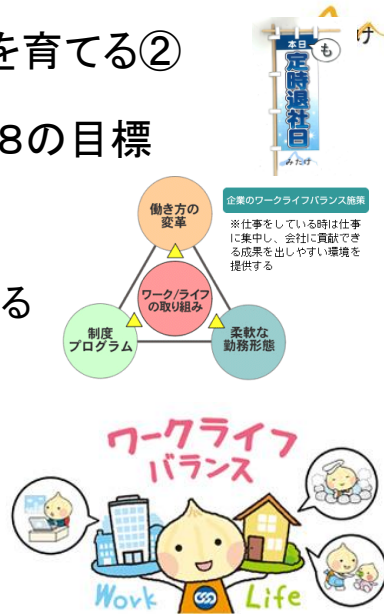
「人間性を高め」  
「良い職場文化」を作る、  
みんなで守る5つのルール

- ① あいさつをする
- ② 笑顔を忘れない
- ③ 相手を思いやる
- ④ 自分から行動する
- ⑤ 良い方向に考える

## 法人の宝となる人財を育てる②

### 働き続けたい職場をつくる8の目標

- ① 良い職場風土をつくる
- ② 職員を大切にする
- ③ 働く意欲、所属意識を高める
- ④ 安心できる職場をつくる
- ⑤ 職員の不満を減らす
- ⑥ 職員の要望に応える
- ⑦ 業務の無理・ムダをなくす
- ⑧ 個別要望に配慮する



## 乳幼児がどんどん少なくなる、 これから10年で保育の職場はどうなるか！

- ① 生まれる子どもの数は、1990年(10年前)から50年間で、140万人から70万人に半減する。
- ② 乳幼児がどんどん少なくなる。子どもがいない地域が普通になる。都市と地方、同じ地域でも大きな差が生じる。
- ③ 幼稚園・保育園等の統廃合が進む。残る園と無くなる園、違いは、「働く人に選ばれる、親に選ばれる、地域に選ばれること」
- ④ 10年後も元気な園は、1) 保育経営に未来ビジョンがある、職員を大切にする、優れたトップリーダーがいる、2) 保育福祉に熱い思いのある職員がいる、この2つが必要。
- ⑤ 「みたけ」は10年後を見据えて活動しています。

## 高齢者が増えるに、働く人がいない これから10年で介護の職場はどうなるか！

- ① 高齢者数は、1990年(10年前)から見ると、今後10年でピーク、その後30年間でもあまり減少しない。少子化によって労働人口は半減する。
- ② 高齢者を誰が支えるのか？ 今後は都市部ほど不足が深刻、人材不足で介護施設の廃業増加、介護難民も出現。
- ③ この厳しい状況でも、働く人が集まり、良い介護を継続できる施設は、常にチャレンジして、「働く人に選ばれる、利用者を選ばれる、地域に選ばれる施設」
- ④ 10年後も元気な施設は、1) 介護経営に未来ビジョンがある、職員を大切にする、優れたトップリーダーがいる、2) 介護福祉に熱い思いのある職員がいる、この2つが必要。
- ⑤ 「みたけ」は10年後を見据えて活動しています。